

# 産業活性化グループ

## 1 商工業振興

### (1) 中小企業振興資金

#### ア 申込み及び決定状況

種別	区分	申込み及び決定	
		件数 (件)	金額 (千円)
運転資金		70	407,000
設備資金		44	180,616
開業資金		8	33,500
借換資金		33	292,800
合計		155	913,916

#### イ 融資及び返済状況

種別	令和3年度末 融資残高		令和4年度 貸付実行額		令和4年度 返済額		令和4年度末 融資残高	
	件数 (件)	運用残高 (千円)	件数 (件)	融資額 (千円)	件数 (件)	返済額 (千円)	件数 (件)	運用残高 (千円)
運転	318	807,049	70	407,000	53	250,228	335	963,821
設備	127	314,688	44	180,616	30	119,859	141	375,445
開業	28	83,401	8	33,500	6	32,767	30	84,134
借換	101	466,102	33	292,800	11	125,298	123	633,604
合計	574	1,671,240	155	913,916	100	528,152	629	2,057,004

※返済額件数は令和4年度中に返済完了した件数

### (2) セーフティネット保証制度

#### 認定状況

認定対象	認定件数
中小企業信用保険法第2条第5項第4号	59件
中小企業信用保険法第2条第5項第5号	9件

### (3) 東日本大震災復興緊急保証制度

#### 認定状況

認定対象	認定件数
東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第128条第1項第1号	0件

### (4) 商工団体の育成及び実施状況

#### ア 商工会補助金

・人件費（商工会に対する補助金算定基準に基づく。）	9,738,983円
・事業費	17,935,303円
合計	27,674,286円

#### イ 商工会事業実績

・経営指導員による巡回及び窓口・創業指導	795回
・講習会の開催により行った集団及び個別指導	42回 222人
・経営発達支援事業	

「小規模企業振興基本法」及び「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支

援に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、福生市商工会経営発達支援計画の策定を行い、令和3年3月に経済産業大臣の認定を受け、管内小規模事業者の持続的な発展及び地域経済の活性化を目的に経営指導員による伴走型支援を実施した。

- ① 専門家派遣による経営課題の抽出・経営計画書策定支援
- ② 地域の経済動向調査及び小規模事業者が取扱う商品・役務の需要動向調査の分析・情報発信

・融資のあっせん 8 件 35,000 千円

内訳	融資制度	件数 (件)	金額 (千円)
	日本政策金融公庫	8	35,000
	東京都	0	0
	貯蓄共済	0	0
	その他の金融機関	0	0

・その他

東京都の重点事業

「中小企業活力向上プロジェクトアドバンス」、「エキスパートバンク事業」等の東京都の小規模事業者向け施策に積極的に取り組み、実績を上げた。

地域振興事業

いいもの・いいサービス PR 事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の地域経済が疲弊しているため、複数の商工会会員事業者で合同の折込チラシを作成し、ポスティングにて配布した。また、福生蔵開き事業でお披露目をした新商品紹介も併せて行った。

配布部数 3.5 万部

配布日 令和4年12月15日

Fの店推進事業

- ① “わくわく福生”を応援する街おこしまガジン「FUSSA PAPER Vol.19」を10,000部発行し、市公共施設、「Fの店」加盟店等へ配布した。
- ② メールマガジン「Fの店便り」の定期的な発信により、「Fの店」加盟店の情報を市内外へ紹介した。
- ③ JR福生駅のペDESTリアンデッキに横断幕を掲げ、駅の乗降客に対して市内事業者への誘因を促すとともに、Fの店加盟店のPRに努めた。
- ④ Fの店加盟店で使用できる「商品引換券が当たるキャンペーン」としてアンケートの実施による「お客様の声」を専門家が分析し、経営改善に役立てる取組を実施した。

福生ドッグ推進事業

- ① 市内外のイベント(47か所、延べ104日)に出店をした。また、出店に伴い「福生ドッグ」の販路開拓支援を行い、福生市の商業活性化に努めた。  
株式会社学研プラスから発売されている『地球の歩き方 東京多摩版』に掲載された。
- ② 福生第一小学校6年生の総合的な学習の授業時間にオリジナル福生ドッグを作る取り組みが実施された。6月16日には福生ドッグ取扱店の店主と事務局が講師となり、「福生ドッグ」の立ちや思いを説明した。  
担当教諭より、地産地消への理解と推進、地域に対する郷土愛を育むことができたとの報告を受けた。  
12月21日に市内全小中学校向け給食メニューとして「元気ハツラツ福生ドッグ」が提供された。

- ③ 新規取扱店舗1店舗が加わり取扱店舗が10店舗となり、パンフレットを改定し6月1日付けで3,000部発行するとともにホームページの更新も行った。  
また、ラッピングペーパーも11,950枚印刷し、ブランドイメージの定着化を図った。
- ④ 地域ブランド創出事業（新商品開発事業）として公募を行い、『地域ブランド創出事業委員会』で8月22日に1社を決定し、開発支援をする助成事業を行った。

#### 小規模事業者経営改善資金利子補給交付事業

商工会の推薦により日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金貸付（マル経融資）を受けている一定条件を満たす市内小規模事業者に対し、利子補給として補助金を交付する事業を実施したが、申請はなかった。

利子補給率 50%  
交付期間 金融公庫の融資実行後、当初3年間  
利子補給対象 0件

#### 住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業

省エネ・バリアフリー住宅改修に係る工事支払額の20%相当（限度額20万円分）及び住宅改修に係る工事支払額の10%相当（限度額10万円分）を助成した。

助成実績 89件 7,057,000円

#### 業種別振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、商業部会、工業部会、建設業部会、青年部、女性部の各部会等で中止とした事業もあった。

#### 産業PR事業

地域特性を活かしたまち全体の産業を認知拡大するため、地域の多様なネットワークを産み出し、市内のあらゆる産業が結び付くことにより、面となった地場産業の魅力発信を行い、和と洋の二分された地域特性の懸け橋を創出することを目的に酒蔵周辺で実施する福生蔵開きと国道16号沿いで催されるインターナショナルフェアを効果的に回遊させ、福生らしさを打ち出した統一的なPRに取り組んだ。

##### ① 第34回インターナショナルフェア

開催期間 令和4年11月12日～27日  
場所 横田基地前商店街周辺ほか  
内容 ・動画撮影、公開（YouTube及びInstagram）  
YouTube 再生回数 6,225回（令和5年3月1日時点）  
Instagram フォロワー 262人（令和5年3月1日時点）  
・スクラッチカード事業  
参加店数 39店、配布枚数 2万枚  
・ウォールアート作成 10枚

##### ② 第1回福生蔵開き

開催日時 令和4年11月12日（土曜日）  
会場 田村酒造場、石川酒造  
内容 ・両酒蔵における各種見学及びイベント  
・新商品販売 7店舗  
参加人数 943人

## 2 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

青梅線沿線地域産業クラスター協議会とは、JR青梅線・五日市線・八高線を沿線とする西多摩地域の各自治体、商工会議所・商工会及び一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）による産業支援のためのネットワーク組織。

令和4年度においても、「合同企業説明会（中途採用向け）」、「新入社員・中堅社員・管理監督者研修」、「中小企業向けセミナー」、「企業視察見学会」、「ポータルサイト運営事業」を実施した。

## 3 創業支援事業

商店街振興策として、市内商店街への創業を促進するとともに、市内の空き店舗を活用し、新たにコミュニティビジネス事業等を創業しようとする者に対し、出店に係る経費の一部を補助することにより活力ある商店街づくりの推進を図った。

### 福生市空き店舗活用補助金

区 分	実 績		
補助件数	10件（家賃・備品費・改装費等）		
補 助 額	4,456,000円	内訳	家賃補助 2,956,000円 備品費補助 500,000円 改装費補助 1,000,000円

## 4 消費生活

(1) 消費生活相談 毎週月・水・金曜日実施

年 度	相談件数
令和4年度	201件
令和3年度	202件
令和2年度	241件
令和元年度	258件
平成30年度	231件

年度	相談件数順位		
	1位	2位	3位
令和4年度	保健衛生品 (30件)	食料品 (16件)	金融・保険サービス (15件)
令和3年度	教養娯楽品 (20件)	保健衛生品 (17件)	金融・保険サービス (17件) ※同率2位
令和2年度	運輸・通信サービス (38件)	保健衛生品 (26件)	食料品 (18件)
令和元年度	運輸・通信サービス (60件)	商品一般 (47件)	食料品 (19件)
平成30年度	運輸・通信サービス (52件)	商品一般 (46件)	他の役務 (15件)

※相談件数順位は、相談種別が多岐にわたるため件数の多いもの3位までを記載

「教養娯楽品」：スマートフォンやスポーツ用品、パソコン関連商品に関する相談等

「保健衛生品」：化粧品の定期購入に関する相談等

「金融・保険サービス」：カードローンの支払、CO<sub>2</sub>排出権取引の相談等

「運輸・通信サービス」：アダルトサイト、架空請求の相談等

「食料品」：健康食品やダイエットサプリメントの定期購入に関する相談等

「商品一般」：商品やサービスの特定できない架空請求、行政機関を装ったメール等

「他の役務」：個人情報削除、ワンクリック請求解決時トラブルの相談等

## (2) 消費生活啓発事業

月 日	実 施 内 容
9月21日(水)	出前寄席 落語 「これで大丈夫だぁ！お婆ちゃんの悪質セールス撃退術」 講師 三遊亭 吉馬 氏 場所 熊牛会館 参加者 21人
10月27日(木)	福生市・東京都共催 福生市消費者セミナー 「安心・安全にスマートフォン・インターネットを使いこなそう！」 講師 一般社団法人 EC ネットワーク 原田 由里 氏 場所 もくせい会館 参加者 9人
令和5年 1月11日(水)	出前寄席 落語 「これで大丈夫だぁ！お婆ちゃんの悪質セールス撃退術」 講師 三遊亭 吉馬 氏 場所 熊川中央会館 参加者 28人
令和5年 3月15日(水)	出前寄席 落語 「なるほど！これぞ『だまし』のテクニック」 講師 三遊亭 吉馬 氏 場所 福祉センター 参加者 26人

## 5 就業支援

## (1) 就職面接会

日程	場所	対象	参加企業数	面接人数
9月29日(木) ハローワーク青梅共催	福生市民会館	全般	10社	26人
11月11日(金) 東京しごとセンター多摩共催	もくせい会館	概ね55歳 以上の方	20社	11人

年度	区分	参加企業数	面接人数
令和4年度		30社	37人
令和3年度		10社	8人
令和2年度		中 止	
令和元年度		20社	97人
平成30年度		20社	142人

## (2) 女性向けミニセミナー

日程	場所	対象	参加人数
10月12日(水) 東京しごとセンター多摩 女性しごと応援テラス多摩ランチ共催	もくせい会館	全年齢・女性	8人

## 6 農耕地・農家戸数

(単位：a)

年度	農 耕 地 面 積						
	水田	普通畑	果樹園	桑園	茶園	その他	合計
令和4年度	0	1,080	75	2	17	70	1,244
令和3年度	0	1,040	75	2	17	70	1,204
令和2年度	10	1,076	75	2	18	71	1,252
令和元年度	10	1,069	75	2	28	75	1,259
平成30年度	10	1,107	75	2	28	75	1,297

※市外農耕地を含む。

農 家 戸 数								
区分 年度	5 a 未満	5～10 a 未満	10～20 a 未満	20～30 a 未満	30～40 a 未満	40～50 a 未満	50 a 以上	合計
令和4年度	2	18	14	7	5	7	3	56
令和3年度	2	18	14	8	5	8	3	58
令和2年度	2	17	13	9	5	9	2	57
令和元年度	3	16	13	12	4	7	3	58
平成30年度	2	15	14	12	4	8	3	58

## 7 経営戸数

区分 年度	そ菜経営戸数	植木生産経営戸数	花き生産経営戸数
令和4年度	56	34	14
令和3年度	58	39	14
令和2年度	56	38	15
令和元年度	55	35	16
平成30年度	55	35	16

※「植木生産経営戸数」とは、「樹木・果樹生産経営戸数」を指す。

## 8 草花苗生産委託

苗の種類	生産委託株数
サルビア	7,200
ペチュニア	7,200
マリーゴールド	15,600
パンジー	13,750
葉ポタモン	6,500
ビオラ	13,750
合計	64,000

## 9 市民農園

農 園 名	設置区画数	使用区画数	使用率	契 約 期 間
熊川武蔵野第二市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 625.00 m <sup>2</sup>	36	36	100.0%	令和4年3月1日から 令和7年2月28日まで
熊川牛浜市民農園 (平成23年4月1日開設) 面積 220.00 m <sup>2</sup>	18	18	100.0%	〃
熊川北市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 300.00 m <sup>2</sup>	23	23	100.0%	〃
福生武蔵野市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 2,184.17 m <sup>2</sup>	131	131	100.0%	〃
福生奈賀市民農園 (平成25年4月1日開設) 面積 1,000.99 m <sup>2</sup>	83	83	100.0%	〃
熊川東市民農園 (昭和49年3月1日開設) 面積 2,330.00 m <sup>2</sup>	186	186	100.0%	令和5年3月1日から 令和8年2月28日まで
南田園第二市民農園 (平成22年4月1日開設) 面積 248.75 m <sup>2</sup>	17	17	100.0%	〃

	合計	494	494	100.0%	—
前年度合計		494	494	100.0%	—

## 10 多摩・島しょ広域連携活動助成金事業

福生・昭島地域の未来をつなぐ協議会

事業名	つなぐ×ミライ プロジェクト
事業内容	<p>令和3年度より、東京都市長会多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用し、福生市・昭島市・福生市商工会・昭島市商工会と連携した協議会を発足させ、地域事業者数の維持と強化、持続的な産業振興を図っていくため事業承継支援と創業支援に取り組み、スケールメリットを活かした地域の活性化を図り持続的な事業経営を推進した。</p> <p>① 創業支援 創業セミナーを2回(参加者数：10名)実施した。 また、新規創業者の掘り起こしと創業の機運醸成を目的とし、ビジネスプランコンテスト「ワークゼミ&amp;コンテスト NEW WORKING」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントリー者数：38名</li> <li>・最終審査会出場者：7名</li> <li>・受賞者：グランプリ1名、準グランプリ2名(最終審査会出場者7名のうち)</li> </ul> <p>② 事業承継 支援機関向けセミナーを1回(参加者数：24名)、事業者向けセミナーを1回(参加者数：3名)実施した。 7月より毎月、事業承継個別相談会(参加者数：4名)を実施した。 事業承継啓発リーフレットを5,000部制作し、協議会構成団体において配布を行った。 事業承継個別相談会の周知を図るため、三つ折りパンフレットを13,000部制作し、市内事業者へ配布を行った。</p>

## 11 福生市プレミアム付商品券事業

### (1) 概要

福生市商工会と連携し、長期化している新型コロナウイルス感染症の現状と、国際情勢等による物価高騰の影響を鑑み、地域消費喚起を促す「プレミアム付商品券」事業を実施し地域経済の活性化を図った。

さらに、物価高騰やエネルギー価格高騰により影響を受けている市内事業者や市民生活を支援するため、第二弾として商品券を増刷して販売した。

商品券販売価格	10,000円(利用額13,000円)
プレミアム率	30%
商品券発行総数	53,739冊(第一弾30,000冊、第二弾23,739冊)
商品券発行総額	698,607,000円
商品券利用額	696,985,000円
取扱店舗数	290店舗

### (2) 福生市商工会補助金

事業費(プレミアム分)	160,842,692円
事務費	23,004,679円
合計	183,847,371円

## 12 キャッシュレス決済ポイント還元事業

### (1) 概要

長期化している新型コロナウイルス感染症の現状と全国的なデジタル技術の普及に伴い、市内事業者のデジタル化の推進と、物価高騰が与える市民生活への影響も鑑みて、福生市商

工会が実施するポイント還元事業に対して補助金を交付し、市内事業者支援及びキャッシュレス決済を推進した。

対象キャッシュレス決済：PayPay、d払い、auPay

(2) 福生市商工会補助金

事業費（ポイント還元分）	54,282,019 円
事務費	7,696,482 円
合計	61,978,501 円